



学長
中山 峰男氏

トライできる環境を ～中山峰男学長インタビュー～

本学は戦後、日本の復興に貢献できる技術者育成を目指して設立された経緯があり、社会に必要とされるプロフェッショナルを育てることを目標としています。今、未来はシンギュラリティの時代へ向かっています。良い大学に入るために高校まで受験勉強に打ち込む。教えられる知識を覚え、与えられた問題を解くだけの受け身の姿勢ではなく、これからは、社会に出たら、自分で問題点を見つけ解決する力がないと通用しません。本学では、その力をつけさせるための様々な教育プログラムを整えています。

さらに、海外で市場を開拓する際に、欠かせないのがライバルに打ち勝つためのディベート力と英語力です。

本学の英語教育は、話す力を重視しています。19人中17人の教員が外国人。新築した英語学習施設SILC(シルク)でスピーキングを徹底的に鍛えて使える英語教育を行っています。留学が実践の場となっており昨年は全学の7%にあたる240人以上が海外経験をしました。その成果もありました。昨年12月に行われた「第6回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」では、本学の学生が最優秀賞の「文部科学大臣賞」を受賞するという快挙を成し遂げました。

地方創生の人材育成を目指した起業家の活動も盛んでこれら成果が出ています。昨年3月の「第13回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で本学の学生が「文部科学大臣賞」を受賞、そのプランで今年4月に起業しました。

また、本学の面倒見のいい取り組みの1つとして、学生5人に教員1人がチューターとなって入学から卒業まで勉強面と生活面の相談にのっています。教育のプログラムだけでなく、普段の授業や生活を通して学生が志を高めることに気を配っています。学生たちの心に火を付けることができればどんな伸びる、無限の力が眠っていると強く思っていますのでその力を引き出してあげたいです。

新しい「SILC」拠点に 英語力を磨く

使える英語教育の拠点となるのが、

大学の実力
大学
SELECTION

夢を育みパワーを養う 実学主義で学生が大成長

幅広い産業分野に人材を輩出している崇城大学は、

徹底した実学主義のもとにオリジナルの英語教育を加え、自ら考え行動できる学生の育成に力を入れる。

教職員、学生が一体となった取り組みで学生英語プレゼンテーションの全国大会制覇、

起業、エアラインパイロット育成、マンガ連載など豊かな発想力と表現力を磨いた成果が次々に生まれている。



1 熊本空港に直結の空港キャンパス。2 テーマは「学内留学」グローバル教育を象徴する「SILC」。3 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞。4 学内留学

今年新築された英語学習施設SILC(シルク)だ。英語は全学部1、2年生必修。能力別クラスで、週2コマを30人以下の少人数で受講する。17人の外国人講師の出身国は様々だが、修士以上の学歴を持ち外国人に英語を教えた経験を持つ教師を海外で公募して選んだ。

全国学生英語プレゼンテーションコンテストで最優秀賞を受けたチームCiamo(シアモ)の古賀碧さん、後藤みどりさん、チャン・ジウ・ティ・ヒエンさんは1年間このSILCに通い詰めた。外国人講師陣に英語の原稿や発音を細かくチェックしてもらい、徹底的に英語力と表現力を鍛えたことが全国制覇につながった。

また授業時間外でも勉強したい学生向けに2階に設けられた自律学修センターSALC(サルク)では、「話す、聴く、読む、書く」の4要素を、各自のレベルに応じてバランス良く学べるよう工夫された教材が自由に使える。オンライン学習プログラムも用意されており、自宅にいてもスマートフォンやパソコンを使って指導が

受けられる。またラーニングアドバイザーが、「留学に興味があるけれど英語力が不安」などの相談にのり、個別の学習プランをオーダーメイドしてくれる。

起業家精神を後押し 数々の成果

大学公認の起業家で活躍する古賀碧さん(大学院2年)らが4月、バイオベンチャー企業「株式会社Ciamo」を設立した。

焼酎粕で培養可能な光合成細菌を大量に培養できるキット「くまレッド」の研究開発、製造販売を手がける。

焼酎粕は処理にコストがかかり焼酎会社を悩ませてきた。古賀さんは焼酎で有名な熊本県人吉市出身、実家近くに球磨焼酎の蔵元があることから焼酎に関心があり、大学で焼酎粕の有効利用の研究をひらめいた。そして、光合成細菌を、焼酎粕を使って低コストで培養す

ることに成功。既に県内農家に直接販売し、5年で10億の販売を見込んでいる。

その培養液を土壌に混ぜると作物の成長が促され、畜産では病害抑制の効果があるなど、一次産業発展に貢献できる可能性が広がる。同社は光合成細菌の培養を行う一方、作物生産や環境問題の解決などの提案を行う。

この研究は、起業家で鍛えたプレゼン力も加わり、学生のビジネスプランコンテストとして最高峰であるキャンパスベンチャーグランプリ全国大会の「文部科学大臣賞」をはじめ数々の賞を受賞した。

空港直結のキャンパスで パイロット育成

崇城大学の特長のひとつがエアラインパイロットと航空整備士の育成。工学部宇宙航空システム工学科に航空整備学専攻と、航空操縦学専攻がある。空港直結型のキャンパスは国内唯一。エアラ

column

2019年大河ドラマ 金栗四三の生涯を描く



芸術学部デザイン学科マンガ表現コースで学ぶ学生7人がマンガ制作チーム「KSプロ」を結成、地元紙の連載マンガ「KANAKURU」制作に携わっている。

熊本県出身で、ストックホルム五輪(1912年)のマラソン競技に出場した日本初の五輪選手・金栗四三の生涯を描いたマンガ。長谷川孝道さんの著書「走れ二十五キロ マラソンの父 金栗四三」を原作に、崇城大学の非常勤講師のマンガ家、岩田結典さんが作画している。

学生たちは背景の人物デザイン、ペン入れやベタ塗りなどを担当しながら、岩田さんからプロの仕事の進め方を実践で学んでいる。

昨年の第1回JUMP新世界漫画賞(集英社)では、当時芸術学部美術学科視覚芸術コース4年、川口勇貴さんが準入選・超新星賞を獲得した。審査員のマンガ家尾田栄一郎さんからは「風景描写が非常に見事」と講評があり、作品は週刊少年ジャンプ増刊号に掲載された。

中山学長は「熊本県出身のマンガ家は多い。熊本をマンガで盛り上げ、世界中から若者が集まるマンガの聖地にできれば」と期待している。

インパイロットを養成する訓練を学内で一貫して行っているのもここだけだ。エアラインパイロットは、20年後に大量退職し人材難となることが予想されている。機長になるまでは少なくとも10年かかるというわれ、パイロット育成は今や国の急務。国土交通省や国内航空会社は奨学金制度を充実させるなど、学費面でのサポートの種が増え、大学での育成に大きな期待が寄せられている。

学部・大学院情報

○学部
薬学部、生物生命学部、工学部、情報学部、芸術学部
○大学院
工学研究科、芸術研究科、薬学研究科

学びたいテーマがきつとある。崇城大学は5学部10学科。

学部	薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部
学科	薬学科 (5専攻領域)	応用微生物工学科 応用生命科学学科	機械工学科 ナノサイエンス学科 建築学科 宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科 デザイン学科

2018年 オープンキャンパス

第1回
7/22(日)

第2回
8/11(土・祝)

模試講義・体験学習

入試相談

保護者説明会

学食無料体験

崇城大生と交流

キャンパスツアー



詳しくはこちら

事前予約制
九州各地から
無料ツアーバス
運行!!

お友達や保護者の方と一緒に参加できます

【開催時間】9:30▶15:00

○バスのご予約は、ご同席の保護者の方も含め、お一人様ずつお申し込みください。

崇城大学大学院生がバイオベンチャー企業「(株)Ciamo」を設置



代表取締役 森田 太一
代表取締役 後藤 みどり
代表取締役 古賀 碧
グループCEO(代表取締役) チャンジウ・ティ・ヒエン
技術顧問(指導教授) 宮坂 均

崇城大学 3年 工学部 機械工学科
崇城大学 大学院修士課程1年 工学研究科 応用生命科学研究科
崇城大学 大学院修士課程2年 工学研究科 応用生命科学研究科
崇城大学 4年 工学部 システム工学科
崇城大学 大学院生命科学研究科 応用生命科学研究科

崇城大学 SOJO UNIVERSITY 熊本市西区池田 4-2-1 (入試課)096-326-6810

そうじょう大学 検索